

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・最近、アクセサリー売場でエンゲージリングの売れ筋が、10万円台から、30万円台が増えてきている。また、OLを中心に、高額な物を自分のために買うケースも増えている。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・前年同月に比べて来客数は若干減少したが、売上は前月同様前年並みを確保した。ファッション関連商品と紳士用品が健闘し高額商品も貢献した。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・クールビズ関連商品やバーゲン商品など服飾関係が好調に推移している。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・非常に暑い日が続いたため、飲料関係を中心に販売量が増えている。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・阿波踊りの時期であり、また、猛暑で、お盆中にも雨があまり降らなかったため、弁当、おにぎりといったファーストフード関連を中心に好調であった。また、客の流れもあった。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・夏物バーゲンは、一部の商品で従来のように50%オフまでの値下げをせずに、30%で留めたが売上は落ちなかった。また、セールと同時に秋物を早く立ち上げた売場がセールとの相乗効果で好調であった。セールに関係なく良い物、欲しい物を買いたい傾向がうかがわれ、そうした対応をした売場で結果が出ている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・売上げがやや良くなった。客の様子と、今までの感じでは、お盆、よさこい祭り等のイベントが原因となっている。
	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・今月は、法人の大口需要があったため3ヶ月前より数字的に良いが、それを除くと決して景気が上向きとは言えない。	
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・6月の交通量調査より、昨年に比べ、平日は若干落ち込んでいるが、土日の通行量が増加しているという結果が出ている。人通りは若干持ち直したようであるが、まだまだ好転に転じる景気の良さは感じられない。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・8月中旬～下旬にかけて料飲店への販売量が昨年より増えた。
		一般小売店〔乾物〕（店員）	来客数の動き	・お盆休みの日まわりが悪かったのと、愛知万博などがあったので、観光客が少なかった。また、メーカーも万博の影響が、品切れが多く機会損失が発生した。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客単価の動きは、3ヶ月前と比較して、良くなっているとは言えず、むしろ下がっている。
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・競合他店のチラシの頻度がものすごく増えた。なかなか客がたくさん商品を買ってくれない時代になり、競争が激化してきている。全体的に景気が良くないからである。
スーパー（企画担当）		来客数の動き	・来客数が台風の影響で悪かった前年に比べても、前年比で1%強減少、客単価も3%弱減少している。	
コンビニ（経営者）		販売量の動き	・3か月前と比べて、販売量はほとんど変わっていない。	
乗用車販売店（従業員）		販売量の動き	・店頭への来客数は増加傾向にあるが、それに伴う販売量がなく、秋の新型車発売まで販売量は伸びない。	
乗用車販売店（従業員）		競争相手の様子	・全体では高いシェアを取っているが、単価やもうけは悪化している。	
乗用車販売店（管理担当）		販売量の動き	・販売台数の減少に歯止めがかかったという気配はあるが、本物かどうかの判断は難しい。	
その他専門店〔CD〕（店員）	単価の動き	・来客数は減少傾向にあるが、その分、単価でカバーできているので、一概に景気が悪くなっているといった判断はできない。		

		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・夏休みを利用しての家族旅行が多く、国内では、愛知万博、北海道、沖縄、東京、海外では、ハワイ、グアム、イタリア等で、従来よりも個人旅行の需要が多く、売上は好調であった。一方、季節要因もあり、団体旅行、業務出張等は比較的少なかった。売上等も含め順調に推移した。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・夏休み商戦を実施中であるが、販売数が伸びない。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・8月は、1年のうちでも、営業的には暇な時期であるが、2～3か月前と比べると、数字も比較的落ち込みが少なかった。
		その他住宅〔不動産〕（経営者）	競争相手の様子	・土地の値段は下落し、買い需要が非常に少ない。その上、賃貸住宅の入居者も減少しており、相変わらず暗い話が多い。
	やや悪くなっている	家電量販店（営業担当）	来客数の動き	・来客数が前年より悪く、客単価、購入点数も低くなっている。エアコンの売行きも先月までで終わった感があり、思うように伸びなかった。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・ガソリン価格上昇の影響もあり、新車販売台数が前年と比べ減少している。
		観光型旅館（経営者）	単価の動き	・高級志向の旅館ということもあるが、客の消費は伸びず、宴会料理、その他の単価が低下している傾向にある。
		タクシー運転手	来客数の動き	・8月は、お盆休みでもあり、お寺参りもほとんどなく、人の出が悪い。
	悪くなっている			
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	通信業（営業担当）	それ以外	・シティホテルの支配人等との会話で、家族旅行者が昨年より増えている。大型スーパー、量販店のマネージャーから高級品、高額商品の売上が回復してきたとの声を聞く事が多くなった。
	変わらない	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・高級ラインに対する需要に明るさが見え、多少景気が上向き、前向きな投資を検討する方向に動き出したといえる。ただ全体的にはまだまだ厳しい状況が続いている。
		化学工業（営業所長）	受注価格や販売価格の動き	・注引量、製品価格ともに変化が無く、小康状態が続いている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・トラック需要は、大型・小型ともに伸びが顕著である。それを受けて、トラック搭載型の小型クレーンの出荷も順調である。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・相変わらず土木関連の新規受注がなく、手持ち工事は底をつきつつある。建築関連は件数が回復しているが、収益面では依然として厳しい状況が続いている。
		輸送業（役員）	受注量や販売量の動き	・愛媛県中心の貨物量の動きは、ほぼ前年並みで、横ばい状態である。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・多くの取引先で前向きの資金需要はなく、ほとんどが滞貨資金の申込である。
		広告代理店（経営者）	取引先の様子	・選挙関係など散発的な受注が発生しているものの、全体としては閑散期のため、大きな動きはない。
		公認会計士	取引先の様子	・今月決算のほとんどの業種において、改善がみられず、売上、利益においてもプラスになっている企業が非常に少ない。そういう状況から、まだまだ景気は完全に上向いていない。
	やや悪くなっている	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・お盆前の数日は例年並みの荷動きで活況感がみられたが、お盆明けは一服感では済まないような落ち込みが続いている。
	悪くなっている			
雇用関連	良くなっている			
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（従業員）	求人数の動き	・雇用内容が、福利厚生面で充実した企業の求人が増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数、有効求人数共に増加している。

変わらない	人材派遣会社 (支店長)	求職者数の動き	・もともと8月はそんなに人の動きはないが、猛暑で、求職者自体は減っている。例年に比べても、やや減少傾向にある。
	求人情報誌製作 会社(編集者)	それ以外	・雇用関連は、即戦力採用に関するPR企画への参加企業も増え、状況は良い。しかしながら、そこから発生する企業PR等のトータルプロモーション事業が低迷している。
	新聞社[求人広 告](担当者)	周辺企業の様子	・新規出店や売出しといった、新しい広告出稿チャンスが出て来ないので前年より悪い傾向にある。大型家電量販店も出店したが、県外企業のため広告会社も含め地元業者への恩恵に乏しく、9月の半期決算前の広告の駆け込み出稿も乏しい状況である。
	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で3か月ぶりにわずかではあるが減少した。産業別でみると、建設業、製造業、飲食店・宿泊業、医療・福祉等で増加したものの、その他の産業で減少しており、特に、情報通信業、卸売・小売業、サービス業で減少し、派遣・請負求人においても減少した。また、月間有効求人数は、4か月連続で増加している。
	民間職業紹介機 関(所長)	求職者数の動き	・昨年と求職者はほぼ同数である。ただし、お盆期間中の求職登録者は若干増加した。
やや悪く なっている	-	-	-
悪く なっている	-	-	-